

授業科目名	人 間 関 係 論			担当教員	友清 由希子	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	人間社会を形成する人と人との関係について理解し、対人関係づくりに必要なコミュニケーション・スキルを学ぶ。					
到達目標	1) 人間のコミュニケーションについて理解できる。 2) 受容的、共感的関わり方のスキルについて理解できる。 3) チームの人間関係について理解できる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	人間のコミュニケーション	講義と演習	復習課題：授業で学んだことをノートにまとめる	90分	友清	
2	医療場面のコミュニケーション1 相手の心を理解する	講義と演習	復習課題：自分の「患者体験」について、ノートにまとめる	90分	友清	
3	医療場面のコミュニケーション2 受容的、共感的に関わる	講義と演習	復習課題：受容的、共感的な応答について練習する	90分	友清	
4	医療場面のコミュニケーション3 コミュニケーションの齟齬	講義と演習	復習課題：よりよいコミュニケーションについてノートにまとめる	90分	友清	
5	医療場面のコミュニケーション4 喪失と悲嘆の理解	講義と演習	復習課題：授業で学んだことをノートにまとめる	90分	友清	
6	人間関係とストレス	講義と演習	復習課題：自分のストレス対処法を見直す	90分	友清	
7	チームの人間関係	講義と演習	復習課題：授業で学んだことをノートにまとめる	90分	友清	
8	まとめ	講義と演習	復習課題：ノートを読み直して、不明な点を調べる	90分	友清	

先行履修科目					
テキスト	使用しない（「資料」を配布する場合がある）				
参考文献	<p>杉本なおみ：改訂医療者のためのコミュニケーション入門．精神看護出版，2013.</p> <p>篠崎恵美子・藤井徹也：看護コミュニケーション 基礎から学ぶスキルとトレーニング．医学書院，2015.</p> <p>石橋里美：キャリア開発の産業組織心理学ワークブック．ナカニシヤ出版，2012.</p> <p>中野敬子：ストレス・マネジメント入門 自己診断と対処法を学ぶ．金剛出版，2005.</p>				
科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「人間」に位置付けている。看護を学ぶ上で、対人関係、コミュニケーションは非常に重要であり、「人間の尊厳と権利を擁護する力」の育成につながる。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	◎		○		
評価方法	定期試験（100％）				